



TITLE:

續獨逸經濟學界近況(二、完)

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 續獨逸經濟學界近況(二、完). 經濟論叢 1918, 6(5): 735-738

ISSUE DATE:

1918-05-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127372>

RIGHT:

京都帝國大學法學大科

經濟論叢

第六卷 第五號

大正七年五月一日發行

論說

生産政策力分配政策力……………法學博士 河上 肇

所得稅ニ於ケル所得ノ統一課稅(一)……………法學博士 神戶 正雄

徳川時代ニ於ケル封建的都市ノ發達……………法學博士 瀧本 誠一

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(五)……………法學博士 田島 錦治

諾威ノ海運(一)……………法學士 小島昌太郎

露國ニ於ケルまゝるくノ說ノ發達(二)…………… 米田庄太郎

我國ニ於ケル營利心ノ起源及發達(四、完)……………文學士 銅 直 勇

時事問題

日用品市場ニ就テ……………法學博士 戸田 海市

雜 錄

南露ニ於ケル獨逸住民(二)……………文學士 長 壽 吉

續獨逸經濟學界近況(三、完)…………… 米田庄太郎

大阪市ニ於ケル窮民ノ家計(二、完)……………法學士 櫛田 民藏

帝國統一後ノ獨逸ノ植民の活動(三、完)…………… 山本美越乃

米國ノ戰時租稅法(三、完)……………在 米 阿部 賢一

續獨逸經濟學界近況(二完)

米田 庄太郎

ふねと氏ノ「夫婦ノ出生力ト職業」⁽¹⁾

まんしゅけ氏 (Mauschke) ハ千九百十六年

Zeitschrift für Sozialwissenschaft: Neue Folge

VII, 1 ニ於テ、ちゅりひノ人口ノ出生力ニ關スル甚ダ重要ナル一論文ヲ發表シタガ、右ノ論文ハちゅりひノ人口ヲ一定ノ部類ニ分類シ、各部類ノ出生力ヲ別々ニ詳シク研究シテ得タル結果ヲ説述スルモノデアル。而シテふねと氏ハまんしゅけ氏ノ此ノ研究ヨリ示教ヲ受ケテ、ちゅりひノ家族ノ營業ノ職業ノ種類ト其ノ出生力トノ

關係ヲ研究シ、其結果ヲ本論文トシテ發表シタノデアル。サレバふねと氏ノ本論文ハ、まんしゅけ氏ノ研究ノ一附録、或ハ其ノ補充ト見做ス可キモノデアル。

ふねと氏ハ千九百十年―千九百十一年度ノちゅりひ市ノ統計日報ヨリ得タル數字ヲ基礎トシテ居ル。同氏ハ千九百五年ヨリ千九百十一年ニ至ル間ニ、夫婦ノ何レカノ死亡ニヨリテ終レル婚姻ニシテ、其ノ期間ハ十五年以上續キ、而シテ妻ガ二十五歳以下ノ年齢ニテ結婚セルモノヨリ生レタル子ノ數ヲ計算シ、之ヲ両親ノ職業ニ從フテ分類シタ。今此ノ研究ニヨリテ明ラカニ示サレタル事實、即チ親ノ經濟的狀態ガ良好ナルホド、出生兒ノ數ハ少クナイト云フ事實ハ、別ニ新シキ發見デハナイガ、併シ同氏ノ作製セル或統計ハ甚ダ有益ナルモノニシテ、茲ニ紹介スル價值ガアルト思フ。

同氏ハ職業ノ種類ニヨリテ分類サレタル右ノ條件ヲ具有スル婚姻百對毎ニ、次ノ如キ出生數ノ割合ヲ計算シテ居ル。

(1) W. Feld, Eheleiche Fruchtbarkeit und Beruf.
(Schmollers Jahrbuch. XLI Jahrgang. 11 Heft.)

はーほ氏ノ「るーたーハ經濟問題ニ關シテハ退嬰的ナリシカ」。(伊太利文ニハ「非開

化主義者ナリシカト譯シテアル)

第十八世紀ノ後半紀ノ初メニ當テ、ゆーすつす、めーぞー(Justus Moeser)ハ、「宗教ガ最トモ長キ間、利子ト戰フタト云フ事實ハ、大ニ注意ス可キ問題デアル。實ニ教會法ハ利子ヲ絶對的ニ禁止シタノデアル」ト云フタガ、實際ニ於テ教會ハ貨幣ガ貨幣ヲ産ミ得ルト云フ思想ニ反對シテ居ツタノデアル。但シ此ノ思想ハ既ニありすどるすノ説イタモノデアル。

るーたーハ經濟問題ニ於テハ、すこら學徒ノ見解ヲ承認シテ、實際上全ク教會ノ規定シタ教條ニ從フテ居ツタノデアル。而シテ是レガ爲メニ、彼ハ經濟問題ニ關シテハ、明亮ナル識見ヲ具イテ居ツタトカ、又ハアマリニ遠慮シ過ギテ居ツタトカ云フ非難ヲ、從來屢々加ヘラレタノデアル。ふらんく、うあるどハ其著「國家并ニ其ノ經濟的職分ニ關スルるーたーノ見解ノ叙説并ニ評價」(Frank Ward, Darstellung und Würdigung der Ansichten Luthers vom Staat und seine Wirtschaftliche Aufgaben)ニ於テ下ノ如ク述ベテ

居ル。「經濟問題ニ於テハ、るーたーハ退嬰的デアツタ。經濟思想ノ歴史ニ於テハ、彼ハ獨創的ナ思想家トモ、亦組織的ナ思想家トモ見做シ得ラレナイ。彼ハ屢々意見ヲ變更シテ居ツタ。是レ彼ハ深ク其ノ眞偽ヲ判別スル爲メニ熟考スルコトヲ、敢テシナカツタカラデアル」。るーたーノ隨喜者デアリ、又辯護者デアルゆーりうす。けーすとりん(Julius Koeplin)其ノ人スラ、其ノ著「其ノ信仰的發達ニ於ケルるーたーノ神學、商業及ビ利息貸シ」(Luthers Theologie in ihrer geistlichen Entwicklung, Handel und Zinsnehmen)ニ於テ、商業及ビ利息ニ關スル問題ニアリテハるーたーハ全ク定見ヲ具イテ居ツタコトハ爭ハレナイ事實デアルト告白シテ居ル。ぐりざー(Griar)ハ其ノるーたーニ關スル羅甸語ノ大著作ニ於テ、るーたーノ受ケタ右ノ非難ハ正當デアルト認メ、而シテ第十六世紀ノせじゆいと派ノ學者ハ、經濟問題ニ關シテハ、るーたーヨリ

(1) Hohoff, War Luther in Wirtschaftlichen Fragen rückständig? Vierteljahrsschrift für Sozial- und Wirtschaftsgeschichte. XIV. Band. Zweites und Drittes Heft. 1917.

モ透徹セル又明亮ナル態度ヲトツテ居ツタコトヲ述ベテ居ル。えんでまん (W. Endemann) モ「宗教改革者ノ中デ、るーたーハ經濟ニ關シテハ教會法ノ根本思想ヨリ一步モ動カナカッタ」ト論ジテ居ル。

併シ今日ノ總テノ學者ハ國民并ニ國家ノ經濟的發達ヲ妨害シタト云フ非難ヲ、教會法ニ加ヘルコトニ於テ一致シテ居ルノデナイ。サレバ教會法ノ規定セル原則ヲ承認シタト云フコトハ直チニ無智及ビ知力の精妙ノ缺乏ヲ意味スルモノデナイ。又しゆもらーハ經濟問題ニ關スルるーたーノ見解ハ、僞而非學問ニヨリテ全心ガ浸潤サレテ居ツタ彼ノ批評家ノ有スルヨリハ、一層深大ナルモノデアツタト云フテ居ル。るーたーハ當代ノ教會ノ總テノ大教父達ヤ、ありすどーとるヲ祖述セルすこら派ノ傳來的學識ヲ、敵トシテ戦ヒツツ、彼ノ教説ヲ防衛セ子バナラナカツタガ爲メニ、經濟問題ニ付テ特ニ考ヘル暇ハナカツタノデハアルマイカト思ハレル。併シ教會法ニ於テ約言サレテ居ツタ諸原理(すこら派

ノ原理)ハ健全ナル社會的及ビ經濟的生活ヲ傷害セシモノト考ヘルハ謬見デアル。現實ナル歴史的事實トシテ、教會ガ資本ガ利子ヲ産ムコトヲ禁止シテ居ツタ其ノ時代ハ、實ニ歐洲文明ガ最大進歩ヲ成シタ一時代デアルノデアル。